

# 第15回 通常理事会 議事録

(2023-2024年度 第15回)

日時：令和6年8月22日（木）15:00~17:30

会場：神奈川県建築士事務所協会会議室 および WEB会議システム（ZOOMを利用）併用

○	平山 正義	△	山口 英生	○	小松 正道	○	山口 雄	○	古室 大悟	○	白川 幹	○	鈴木 武昭
△	有泉 絵美 WEB	×	名和 靖晃	△	永島 優子	○	鈴木 與	○	長友 寛昌	○	古谷 雄一	×	高橋 康
×	大和田 優	○	福田 亮一	×	田中 正幸	△	矢野 高 WEB	×	奈良 直史	○	伊藤 耕人 WEB	○	杉本 勝郎 WEB
○	佐藤 眞吾	○	松井 正	×	渡邊 靖	○	小泉 厚	○	山中 信悟	○	酒井 弘幸		
	監事	○	平野 武洋	○	山本 敏夫	○	椋 茂廣				日事連副会長	×	白井 勇
(事務局)磯部事務局長、野口総務課長、 小林業務兼登録課長								議事録作成者:酒井専務理事 (事務局)磯部					

出席者：21名（△は定足数確認時に不在）

司会：古谷総財務委員長

- ・平山会長挨拶
- ・定足数の確認 27名中（ 17 ）名出席。過半数出席のため定款第43条により会議成立を報告。
- ・定款第47条により議事録署名人は会長と出席した監事とした。
- ・定款第42条により会長が議長となり議事を行う。

## 1 審議事項

第1号議案 会員の入会等について承認を求める件

資料1-1により、磯部事務局長から以下の通り説明。

- ・正会員の入会 （ ）は指定代表者名

横浜支部 うさぎデザイン（鈴木三枝子）

鎌倉支部 株式会社NECCO 一級建築士事務所（藤本 陽介） ※9月1日入会希望

- ・正会員の退会 （ ）は指定代表者名



規定等	公開範囲→ 公開方法→	現状			今後の公開方法(案) ●…決定済 ○…案						
		HP (一般公開)	HP (会員限定)	会員 名簿	一般公開		会員限定		会員 名簿	削除	
					HP	サポセン	HP	サポセン			
*書式等ダウンロード	鉄筋造り工事特記仕様書 【公益社団法人日本鉄筋造り協会】	○	○								○
	設計等の業務に関する報告書【神奈川県 建築 安全課 指導監督グループ】	○	○								○
	一級建築士及び構造・設備一級建築士の手続 き・簡易申請について 【(社)日本建築士会連合会】	○	○								○
	重要事項説明の書類ダウンロード【日事連】	○	○								○
	省改修工事証明書について【日事連】	○	○								○
	中古住宅ローン減税等耐震基準適合証明書業務 【日事連】	○	○								○
	建築設備設計関連業務委託契約書・契約約款 について【日事連】	○	○								○
	神奈川県内版 建築確認ペーパー様式【神奈川県】	○	○								○
*会員関係書式	【入会】申込書・誓約書		○		○			○			
	【退会】退会届		○					○			
	【変更】会員変更届		○					○			
	【体会】体会届		○					○			
	【特別会友】特別会友推薦書・退会届		○					○			
	【慶弔関係】訃報・お見舞お祝金申請書		○					○			
*委員会等作成資料	令和元年台風第19号対応 建築相談事業成果 報告書		○		○						
	平成29・30年度 委員会成果報告会(第3回) 報告書(平成30年12月21日)		○		○						
	非構造部材等の構造安全性に関わる特記仕様 書(例)		○								○
	現地相談報告書様式		○								○
	建築士事務所業務報酬算定方法2020(業 務支援委員会)		○					○			
	2011「家の燃費」調査結果発表(技術調査委 員会)		○								○
	「家の燃費シート」(技術調査委員会)		○								○
	「神奈川県内の各市町村における木造住宅耐 震化事業に係る補助基準一覧」 2022年10月現在(木造特別委員会)		○					○			
	2010工事監理チェックリスト (非木造小規模建築物用)		○								○
	木造住宅の耐震診断用現地調査書 (技術調査委員会)		○								○
	木造住宅用工事監理チェックリスト (技術調査委員会)		○								○
	木造設計図面チェックシート (技術調査委員会)		○								○
	概要書等のCADファイル		○								○
	木造特記仕様書(技術調査委員会)		○								○
	木造特記仕様書(20180720改訂版) (木造専門委員会)		○								○
	特記仕様書(2010年度改訂版)		○								○
	構造標準図-JWW(2010年度改訂版)		○								○
梁式鉄筋コンクリート構造標準図-JWW (2010年度改訂版)		○								○	
木造の柱・梁・節交い等詳細図-JWW (2010年度改訂版)		○								○	

<意見等>

- ・構造標準図の改定はするのでしょうか。  
→ 改定は難しいので、東京会が作成しているのので、案内リンクを作成予定。
- ・木造関係資料は、現在見直し中のため、一旦削除して頂き、資料が出来たら掲載して頂けるか。  
→ 掲載するので、ご連絡をお願いした。

以上、原案通り承認された。

第3号議案 新規事業実施について承認を求める件 (会報誌編集特別委員会)

資料 1-3 により、小泉理事から以下の通り説明。

事業名：会報「KANAGAWA」2025年1月号掲載 座談会

テーマ：2025年の抱負（仮題） ※11/22 入稿のため。10/17 理事会前に実施予定。

場 所：神事協会議室（60～90分程度）

参加者：会長・副会長

統括 小泉委員長、司会コーディネーター 杉本理事

収入：0円

支出：20,000円（文字おこし）

以上、原案通り事業実施が承認された。

第4号議案 建築設備設計者の慢性的な不足に関するアンケート実施について承認を求める件  
（一般社団法人東京都建築士事務所協会依頼）

資料 1-4 により、平山会長から以下の通り一般社団法人東京都建築士事務所協会からの依頼内容と中間結果を説明。

近年、建築設備設計者の不足を要因として、設計業務の遂行や受注に支障をきたす建築士事務所が顕著に現れてきていることから、国へこの窮状を訴え、対策を講じていただくために、アンケートへ実施の協力をお願いしたい。

（ご意見等）

- ・アンケート内容を精査した方が良いのでは。主旨は理解するが。
- 先ずは困っていることを示すためのエビデンスとするためと理解して頂きたい。  
また、内容を変えてしまうと東京会でまとめられないので、ご容赦頂きたい。

以上、依頼通り当会でのアンケート実施が承認された。また、回答期日を9月20日とした。

## 2 報告事項

第1号報告 会員入会等の報告

資料 2-1 により、磯部事務局長が報告。

- ・正会員の入会（ ）は指定代表者名  
川崎支部 佐藤信行建築設計事務所（佐藤 信行）  
県西支部 伊藤保典建築設計事務所一級建築士事務所（伊藤 保典）
- ・正会員の退会（ ）は指定代表者名  
藤沢支部 建築総合企画ジーボックス一級建築士事務所（横山 尊重）

以上、入会2社、退会1社 会員数741社

・賛助会員の入退会 なし 会員数97社

## 第2号報告 神奈川住宅紛争審査会依頼 紛争処理委員及び専門家相談員の推薦報告（正副会長専決）

資料2-2により、回答期日の関係により正副会長の専決事項とし、以下の10名推を推薦したことを磯部事務局長が報告。

また、今後の対応について、任期毎に一部入れ替えをするなどの検討をしていくことが平山会長より併せて報告された。

棕 茂廣 様（座間支部（有）棕一級建築士事務所） 継続  
増田 務 様（横須賀支部（株）里木アルファデザイン） 継続  
黒部 光司 様（平塚支部 黒部設計事務所） 継続  
清水 煬二 様（横浜支部 ミタス一級建築士事務所） 継続  
梅澤 典雄 様（鎌倉支部 梅沢典雄設計事務所） 継続  
加藤 文一 様（横浜支部 一級建築士事務所オフィス Kei） 継続  
甘粕 博史 様（藤沢支部 甘粕博史一級建築士事務所） 継続  
山口 雄 様（県西支部（有）山口建築事務所） 継続  
平山 正義 様（横浜支部（株）アーキテクト・アソシエイツ・ヨコハマ一級建築士事務所） 新規  
梅原 義信 様（横浜支部 梅原建築設計事務所） 新規

## 第3号報告 神奈川住宅紛争審査会依頼 鑑定人推薦の報告（正副会長専決）

資料2-3により、回答期日の関係により正副会長の専決事項とし、以下の通り推薦したことを磯部事務局長が報告。

松井 正 様（県西支部 株式会社マツイアーキテクトコンサルタント）

## 第4号報告 大和市公共工事のやり直し指示に関する第三者調査等業務委託に係る会員の推薦についての報告とお礼

資料2-4により、7月23日付で大和市長より当会会長宛に届きました終了報告とお礼について、磯部事務局長が報告。

## 第5号報告 日事連・各委員会委員推薦の報告（正副会長専決）

資料2-5により、回答期日の関係により正副会長の専決事項とし、以下の通り推薦したことを磯部事務局長が報告。

### ①会誌編集専門委員会

小泉 厚 様（理事・横須賀支部（株）アスデック建築事務所） 継続

### ②適合証明・既存住宅状況調査検討委員会

山口 雄 様（副会長・県西支部（有）山口建築事務所） 継続

③B I Mと情報環境ワーキンググループ

山口 英生 様（副会長・横浜支部 港設計一級建築士事務所） 新規

④事務所登録電子化対応ワーキンググループ

酒井 弘幸 様（専務理事 一般社団法人神奈川県建築士事務所協会） 継続

⑤J A A F－M S T担当

江間 昭彦 様（業務支援委員・厚木支部 一級建築士事務所(株)キタムラ・アソシエイツ） 継続

第6号報告 建築士事務所登録（4-7月）の報告

資料 2-6 により、磯部事務局長が以下の通り報告。

<新規登録事務所>

4月 一級：16件、二級：11件、木造：0件

<更新登録事務所>

4月 一級：47件、二級：14件、木造：0件

<登録証明発行>

4月：7件

以上、4月手数料収入合計：1,285,800円。

<変更>

4月 一級：171件、二級：19件、木造：0件

<廃業>

4月 一級：25件、二級：7件、木造：0件

<期間満了抹消>

4月 一級：5件、二級：2件、木造：0件

<閲覧> 4月：2件

<新規登録事務所>

5月 一級：18件、二級：8件、木造：0件

<更新登録事務所>

5月 一級：57件、二級：16件、木造：0件

<登録証明発行>

5月：25件

以上、5月手数料収入合計：1,474,000円。

<変更>

5月 一級：104件、二級：15件、木造：0件

<廃業>

5月 一級：9件、二級：4件、木造：0件

<期間滿了抹消>

5月 一級：6件、二級：2件、木造：0件

<閲覽> 5月：5件

<新規登録事務所>

6月 一級：15件、二級：5件、木造：0件

<更新登録事務所>

6月 一級：40件、二級：15件、木造：0件

<登録証明発行>

6月：14件

以上、6月手数料収入合計：1,105,600円。

<変更>

6月 一級：86件、二級：7件、木造：0件

<廃業>

6月 一級：14件、二級：0件、木造：0件

<期間滿了抹消>

6月 一級：5件、二級：4件、木造：0件

<閲覽> 6月：3件

<新規登録事務所>

7月 一級：13件、二級：8件、木造：0件

<更新登録事務所>

7月 一級：37件、二級：8件、木造：0件

<登録証明発行>

7月：9件

以上、7月手数料収入合計：979,600円。

<変更>

7月 一級：143件、二級：15件、木造：0件

<廃業>

7月 一級：0件、二級：0件、木造：0件

<期間滿了抹消>

7月 一級：5件、二級：4件、木造：0件

<閲覽> 7月：3件

### 3 検討事項

(1) 2026年度 設立50周年記念実行委員会について

- ・資料3-1により、古谷理事から40周年記念の参考資料を以下の通り説明。

40周年記念事業 実行委員会 運営組織図

平成28年2月18日



- ・収支予算書

収入の部

(単位：円)

科目		金額	小計	備考
大科目	中科目			
神事協		2,000,000		周年記念積立預金より
記念誌広告		500,000		
雑収入		500,000		
			3,000,000	
収入合計 (A)		3,000,000	3,000,000	



## 支出の部

(単位：円)

科目		金額	小計	備考
大科目	中科目			
記念式典		750,000	750,000	
記念事業	コンペ事業	500,000		※1
	その他(スポーツ大会等)	250,000		
	ホームページ等作成	250,000		※2
			1,000,000	
記念誌事業		1,000,000	1,000,000	
会議費 他		250,000	250,000	
収入合計(B)		3,000,000	3,000,000	
収支差額(A)-(B)		0	0	

※1 コンペ事業は、別建ても見込む。

※2 本会計予算 250,000 円を加え、計 500,000 円を見込む。

## ・収支決算書

## 収入の部

(単位：円)

科目		金額	備考
大科目	中科目		
一般会計支出		2,557,399	内、引当金取り崩し分 2,308,000
記念誌広告収入		1,370,000	
祝賀会会費収入		1,498,000	
助成金	安全協会	2,550,000	
	建設業協会	100,000	
雑収入	祝儀	525,000	
	賛助会協力費	100,000	
収入合計(A)		8,700,399	

## 支出の部

(単位：円)

科目		金額	備考
大科目	中科目		
記念式典・祝賀会事業		2,774,040	
記念事業	記念コンペ	4,344,299	
	記念スポーツ大会	180,000	
	協会HP制作	298,080	
記念誌事業		1,103,980	
その他		0	
収入合計(B)		8,700,399	
収支差額(A)-(B)		0	

・50周年の積立金は、490万円となる予定。

・50周年での助成金は、現状考えていない。

・準備・運営スケジュール

	平成27年12月	平成28年1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月
	30	15	30	15	30	15	30	15	30	15	30	15	30	30
全体	● 12/17 第1回実行委員会			● 2/18 第2回実行委員会				● 4/14 第3回実行委員会					● 6/16 第4回実行委員会	
式典部会	● 11/5 会場予約						----->● 全体構想検討		----->● 来賓、来場者のリストアップ		● 5/12 総括委員会		----->● 式典及び授賞会の全体概要、プログラム案を基として (会場レイアウト、プログラム、表彰関係、司会、授賞イベント内容)	----->● 全体再調整
記念事業部会 (コンペ)			●	----->● 要項確定、審査委員決定、日程確定、予算確保				●	----->● チラシ作成、特設サイト制作				●	----->● 要項発表、賞状授賞 賞状交付、視覚見学会
記念事業部会 (講演)							----->● 全体構想検討							
記念事業部会 (スノー大会)							----->● 全体構想検討							● 6/30 スノー 大会
記念事業部会 (HP)							----->● 全体構想検討							
記念誌部会							----->● 全体構想検討		●	----->● コアメンバー会議 (4/下旬~5/上旬)	● 5/11 第6回広報情報委員会 (記念誌役割分担決定)		----->● 執筆者原稿依頼	● 6/30

	7月		8月		9月		10月		11月		12月		平成29年1月	
	30	15	15	30	15	30	15	30	15	30	15	30	15	30
全体			● 8/18 第5回実行委員会				● 10/20 第6回実行委員会	● 11/10 第7回実行委員会		● 12/15 第8回実行委員会			● 1/16 第9回実行委員会	
式典部会	●	----->● 全体調整					● 10/20 実行委員会にて 授賞案内状確認	----->● 内閣府宛申請 授賞、来賓へ案内状交付	● 12/10 総括 レポート作成	● 12/14 15日審査 締切		● 1/16 授賞 制確め		
記念事業部会 (コンペ)		●	● 8/6 パワポコン大会		● 10/2 作品提出締切	● 11/19 一次審査 通過作品発表		● 11/24 作品二次審査 受賞作品発表						
記念事業部会 (講演)														
記念事業部会 (スノー大会)		● 6/30 スノー大会 開催内容確定					● 10/29 スノー大会開催							
記念事業部会 (HP)														
記念誌部会	● 7/3 第7回広報情報委員会		----->● 執筆者二階級のみ募集	● 9/2 第8回広報情報委員会		● 9/30 原稿締切	● 10/12 第9回広報情報委員会	● 11/11 第10回広報情報委員会	● 11/20 原稿締切	● 11/30 原稿締切	● 12/5 原稿締切	● 12/12 原稿締切	● 1/12 第12回広報情報委員会	

・40周年記念事業実行委員会 運営規程

一般社団法人神奈川県建築士事務所協会  
40周年記念事業実行委員会 運営規程

(名称)

第1条 本委員会は、40周年記念事業実行委員会（以下「委員会」という。）と称する。

(目的)

第2条 一般社団法人神奈川県建築士事務所協会（以下「本会」という。）が、法定団体として果たしてきた役割や、設計・工事監理等、建築士事務所の業務に関する技術の向上、研究及び知識の普及に関する取組みへの足跡を辿るとともに、未来へ向けた更なる発展を目指し、本会の役割と使命を広くアピールする。また、本会の運営に御支援、御協力いただいた会員、関係者とともに、40周年の慶事を祝う。

(事業)

第3条 委員会は前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- ① 式典の企画及び運営に関すること
- ② 各記念事業の企画及び運営に関すること
- ③ 記念誌の発行に関すること

(組織)

第4条 委員会は本会の統括委員長会を主体とし、別表1に掲げる内容の通り構成する。

(役員)

第5条 委員会に次の役員を置く。

- ① 委員長 1名
- ② 部会長 3名
- ③ 副部会長 4名

2 委員長は、会長の指名により選出する。

3 部会長および副部会長は、委員長の指名により選出する。

(役員職務)

第6条 委員長は、委員会を代表し、会務を統括する。

2 副会長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

(役員任期)

第7条 役員任期は、この会が解散するまでとする。

(委員会会議)

第8条 委員会会議は、役員をもって構成し、次に掲げる事項について審議し、議決する。

- ① 40周年記念事業の準備、運営に関すること。
- ② 予算、決算に関すること。
- ③ その他重要な事項

2 会議は、委員長が招集し、開催する。

3 会議の座長は、委員長が務める。

4 委員長が必要と認めるときは、会議の構成員以外の者に出席を求めることができる。

(専決処分)

第9条 委員長は、早急な議決を要する事項が生じた場合、その議決すべき事項を専決処分することができる。

2 委員長は、前項の規程により専決処分した事項を次の会議において報告しなければならない。

(財務)

第10条 本事業に係る経費は、次に掲げる経費をもって充てる。

- ① 周年記念事業積立預金
- ② その他収入

(解散)

第11条 委員会は、事業の目的が達成されたとき、会議の議決をもって解散する。

(委任)

第12条 この規程に定めるもののほか、運営に関して必要な事項は、委員長が別に定める。

附則

この規程は、平成28年2月18日より施行する。

・ 設立40周年記念事業 開催要領

設立40周年記念事業 開催要領

平成28年2月18日

□ 開催目的

一般社団法人神奈川県建築士事務所協会（以下「本会」という。）が、法定団体として果してきた役割や、設計・工事監理等、建築士事務所の業務に関する技術の向上、研究及び知識の普及に関する取組みへの足跡を辿るとともに、未来へ向けた更なる発展を目指し、本会の役割と使命を広くアピールする。また、本会の運営に御支援、御協力いただいた会員、関係者とともに、40周年の慶事を祝う。

□ 開催テーマ 『“未来に継げる神事協”』

本会は、一般社団法人に移行して3年が経過し、今年、設立40周年の節目の年を迎えます。この間、多くの会員の努力と協力により、さまざまな事業が行われ成果を上げることができ、特にこの10年は、「住・緑・家」等の新たな試みを含め、活発な活動が行われてきました。しかしながら、建築業界における建築士や建築設計事務所にとって、責任の重さを改めて考えさせられた期間でもあります。

このたび、改めて本会の歴史を振り返り、また、これからの事務所協会の方向性を探るべく、特に若い世代の会員の参加を積極的に推し進め、未来に継げる『神事協』を目指すことを目的に、会員が一丸となって、今後のあるべき姿に向けた成長と発展の礎を築く周年記念事業を実施します。

□ 日程・会場

記念式典 平成29年1月27日（金） 会場：ロイヤルホールヨコハマ

各記念事業 各事業の開催要領に基づく

□ 運営組織

別紙内容のとおり

□ 予算およびスケジュール

別紙内容のとおり

□ 事業

主に記念式典事業、各種記念事業、記念誌事業の3事業とする。

また、事業内容については、それぞれの実施要領のとおりとする。

（ご意見等）

① 実行委員会の組織について

- ・ 既存の委員会委員長と60歳未満の方を8ブロックより10名程度推薦頂く。
- ・ コアメンバー（正副会長と経験者）を組織し、タタキ台を作って、実行委員会へ落とす形
- ・ 40周年記念から繋げていくためには、当時実行した方々からバトンタッチして頂いては。

→ スタートに向けて、知っている人が行くとそれ以上は望めない気がするので、なるべく線路はひかずに、上下を無くして、ブレストを3回くらい実施してはどうか。

- ・ 前は、各委員会の委員長がいたので、やり易かったのも、委員長はメンバーにいた方が良いでしょう。また、前は50代が中心で実施していた。
- ・ 新しい神事協を見据えた形でも良いでしょう。
- ・ 実行委員会の組織の中で、記念事業部会はとても大事な中心的役割を担っていた。
- ・ メイン事業にもよるが、若い世代（60歳未満）で組織した方が良いでしょう。
- ・ 部長＝副部長が良いのでは。
- ・ 法定団体の50周年なので、対外的な式典と記念誌は、コアメンバー（経験者）で準備委員会組織し、1～2回程度の実施でタタキ台を作成する。ハードルを低くした方が良いでしょう。
- ・ 記念事業部会は、自由なメンバーで良いでしょう。
- ・ 0からのスタートでも良いでしょう。（50代中心に）

②開催目的とテーマについては、理事会又は実行委員会でのどちらで決定した方が良いでしょう。また、テーマの決定時期はいつ頃が良いか。

- ・ 大きなものは理事会で決定し、内容は実行委員会で決定した方が良いでしょう。
- ・ 実行委員会の部長である程度固めてから、下に落としていった方が良いでしょう。
- ・ 50年は節目なので、100周年に向けての発信も出来れば理想。（対外的にも）
- ・ 40周年記念でアンケートを実施したのを参考にすれば。（本来は毎年実施するつもりでいたが、出来ていない。出来れば3年に1回程度実施した方が良いでしょう。）

以上の意見等も踏まえ、次回理事会で、「実行委員会をどう組織するのか（スキーム、属性等も含めて）」を検討するので、意見提出をお願いした。

また、10～11月で詳細を決定し、12月理事会で実行委員会を決定したい。

## （2）一般社団法人かながわ建築事務所協会（建事協）について

- ・ 資料3-2により、平山会長および古谷理事から以下を説明。  
第1回意見交換議事録（5月27日開催）および第2回意見交換議事録（8月2日開催）より、以下について意見を求めた。

### （3）今後の進め方

（古谷理事）

- ・ 今後の進め方を確認したい。

（平山会長）

- ・ 組織の受け入れは、大きなテーマであり総会マターのレベルと考える。
- ・ 検討のスタート時の建付けは重要である。
- ・ 今年度の活動計画に入っていないので、令和7年度の事業方針に位置付ける方向で、予算編成方針のスケジュールを合わせて検討する考え。
- ・ 次回の神事協理事会で、検討事項としてとりあげることにし、集中審議していく。

（古谷理事）

- ・ 検討、擦り合わせに1～2年の期間が見込まれるが、建事協の役員改選時期との関係でどうするか。

・ 神事協のため（小さな支部のため）に作ったので、神事協がどうしたいかを考えて欲しい。

（ご意見等）

（鈴木武昭） 小さな支部がメインに使うのであれば、使う方々が運営すれば良いのでは。

今の杯を残すのではなく、小さくしては。

→ 方法を示して欲しい。

（平山） 別組織となるが、表裏一体（全会員加入）の形としていく方が良いと考えている。

一般社団法人が良いのか、協同組合が良いのかは、不明。

（福田） 委員会での受注も可能。会員のバックアップ的役割も出来ると考える。

（杉本） 必要な組織としてとらえていた。どこを修正すれば表裏一体になるのか。

（鈴木與） 建事協を知らなかった。川崎支部など、2本立てしている支部もある。

会の中での平等性が担保できるのか。

神事協事務局を使うとの話があったが、独立採算で運営出来るのか。

総会で通らないのでは。

（長友） 存在自体、反対。会の存続には、採算が必要。（ボランティアにもなっていない）

理事の選出方法としては、業務受注委員会を設置する？

（山口雄） 総会で通せるか疑問。愛川支部も活用しているので、現状の形で良いのでは。

表裏一体とした場合の責任問題もあるのでは。

（山口英生） 業務内容を見たが、拡大路線ではない。システムがダメだと思っている。

愛川支部が建事協を利用しない方法等があるのか、再確認しても良いのでは。

（小松） 愛川支部の12条点検業務の問題はあるが、組織体が小さい行政なので、本会と契約や協定を締結したいとの意向がある。皆が同じ立場になる（平等性）ことが大切なので、表裏一体が良いのでは。県の第三セクター的な役割も担えるのでは。

受注金額の10%を手数料として納入している。

仕事をもらえらると思って入って入会する人もいるので、そのような方へのPRにはなる。

（佐藤） 相模原支部で5年前に利用して存在を知った。会員からの認知度が低いのが問題である。

（永島） 建事協は必要であると考え。公益に寄与する活動（事務所登録が必要であるものの受け皿として）で、行政が頼みやすい状況である。川崎支部では、ブロック塀の調査も受注した経緯もある。

サポートセンターの役割とし、支部長が役員となる。ただし、受注業務は選定する必要がある。

費用の分配については、支部へ費用還元できるシステムとしては。

（白川） 神事協は業務団体でないので、業務を受ける必要はないと考える。

行政は地元に仕事を出し、実施して頂くのが良いので、支部が受注できるシステムがあれば良い。

（松井） 県西支部も12条点検業務を実施した。表裏一体の組織が良い。手数料の10%が負担であった。また、新しい人（出資していない人）が加入する場合のルール化も必要。

（古室） 契約金額の10%を建事協へ支払う仕組みなので、契約上は建事協が責任を持つ。

分からないですが、神事協が保証人になっているので、契約できているのか。

存続した方が良いと思うが。

（伊藤） 業務支援のために建事協がある。（公平性、地域性は、仕方が無いのでは）

税金など、神事協と建事協のやり取りの法的チェックは必要である。

神事協の高齢化、建事協のお金の話もある。

（山中） 存続は必要。地方では、行政が入札に出せない仕事もある。サポートセンターの一つとしても良いのでは。（行政の駆け込み寺的な役割も）

また、建賠的な業務支援システムの一つとしては。

(小泉) 横須賀支部の会費、月 6,500 円。仕事につながる組織は必要では。建事協が受注し、会員へ業務を回す。

(棕) 神事協として利用価値はある。個人で出来ないものを受けるための武器である。

愛川町には、建事協の説明にしている。(行政から業務を実施頂きたいとの要望に応じて) 会員がどう思うかの問題だと思う。

(山本) 分からない。

(平野) 理事の時に建事協の話が合った。当時は面倒であると思っていた。

存在は必要だと思っている。全会員へお知らせすることが大切。そのため、まずは周知が大事なので、時間を掛けてアナウンスすること。組織は、一般社団法人で良いと思う。次回の総会で諮るのは難しいと思う。次世代の人が引き継げる内容として欲しい。

(酒井) なし

- ・以上のご意見も含め、方向性を出す必要があるが、時間が足りないため、集中審議が必要だと考えている。そのため、タイムスケジュールも作って進めて行きたい。また、意見交換に出席した人で行う方法など、正副会長で方法を検討しお伝えすることとした。

### (3) HP改定におけるサイトマップ(案)についての検討

- ・資料 3-3 により、白川理事、長友理事から以下の通り説明。

新しいホームページでは、会員サポートセンターを前面に押し出したトップページ構成を考えており、多くの方へ会員サポートセンターが認識されやすい構成とすることを検討しています。また、「サポートセンターのコンテンツ」に「その他会員ページ」を追加するか(案1)、「建築士事務所の方へ」に「その他会員ページ」(要パスワード入力)を掲載するのか(案2)の判断も含めてご意見をお願いした。

- ・会員サポートセンター「委員会・支部一覧」については、当会のご案内にもあるので、業務支援委員会と相談し、検討する。
- ・一般の方へは、現在のものを活用する。
- ・当会のご案内に「会長あいさつ」を新設する。
- ・当会のご案内に「協会活動」を新設し、過去のイベントや事業などを列挙し、神事協の歴史として公開する。
- ・現在の「神事協スケジュール」を「会員サポートセンター」と一体化するかは検討が必要。

TOP	TOP		
	サポセン		
	建築士事務所の方へ		
	一般の方へ		
	検索		
サポセン	委員会・支部一覧	※名称変更	
	年間スケジュール		
	講習会 神事協スケジュール		
	講習会アーカイブ動画、テキスト資料		
	講習会Q&A	※現一般HPから移行	
	協力事務所紹介		
	他士業紹介サービス		
	実務文章フォーマット		
	JAAF-MSTのご紹介	日事連のページ	
	設計図書保管サービス		
	建築士事務所の業務報酬算定方法2020	※旧委員会作成資料	
	業務書式モデル集	東京会ヘリンケ（業務支援委員会検討）	
	会員関係書類 入退会・変更・休会届、特別会友、慶弔関係		
	事業承継支援	※×継承→承継	
	保証サービス		
	ホームページ開設支援サービス		
	その他会員ページ (案1)	会報「かながわ」	
		会誌「日事連」 (社)日事連会務月報	
		委員会委員名簿	
		各委員会活動報告	
		委員会規程	
		建築物耐震改修評価特別委員会規程	
		「住・緑・家」運営特別委員会規程	
		景観・まちづくり特別委員会規程	
		木造特別委員会規程	
		青年部会運営委員会規程	
		災害時対策特別委員会規程	
		会報誌編集特別委員会規程	
		建築物等調査・鑑定業務登録事務所要綱	
		景観整備機構等の業務対応登録者	
		設計者選定システム「住・緑・家」コンペティション要綱	
		内規等	
		後援名義等の使用等の取扱いについて	
広告掲載取扱要領			
講師料等についての規程			
理事会推薦理事の推薦基準について			
各種取り扱いについて			
功労者（退会者）への対応について			
ブロック支部担当理事の内規			
建築士事務所登録事務関係			
登録等事務規程			
建築士事務所の登録等に関する取扱要領			
建築士事務所登録簿閲覧規則			
「神奈川県内の各市町村における木造住宅耐震化事業に係る補助基準一覧」	※旧委員会作成資料		
コンペ情報			
建築CPD			
かながわ建築設計政経研究会会則			
寒川町木造住宅耐震相談に関する協定			
野中公認会計士事務所 委嘱契約			
会員ページ利用案内	※更新停止、不要となれば全削除		
旧会員ページ 現講習会セミナー情報を含む	※更新停止、不要となれば全削除		



建築士事務所の方へ		[TOPページ作成]
建築士事務所の方へのお知らせ	一般情報、講習会、行政・他団体	
建築士事務所登録		
法定講習		
講習会Q&A		
建築士事務所賠償責任保険		記事連のページ
適合証明技術者		記事連のページ
耐震基準適合証明		記事連のページ
重要事項説明		記事連のページ
書式ダウンロード		外部リンクのみ
建設業国民健康保険		
入会のご案内	入会申込書他	
書籍等の販売		
住・緑・家		
マンション等の大規模修繕		マンション等の大規模修繕業務特別委員会
景観・まちづくり		
委員会・支部一覧		※サポセン内のページ
その他会員 ページ (案2)	会報「かながわ」	
	会誌「記事連」	(社) 記事連会務月報
	委員会委員名簿	
	各委員会活動報告	
	委員会規程	
		建築物耐震改修評価特別委員会規程
		「住・緑・家」運営特別委員会規程
		景観・まちづくり特別委員会規程
		木造特別委員会規程
		青年部会運営委員会規程
		災害時対策特別委員会規程
		会報誌編集特別委員会規程
		建築物等調査・鑑定業務登録事務所要綱
		景観整備機構等の業務対応登録者
		設計者選定システム「住・緑・家」コンペティション要綱
	内規等	
		後援名義等の使用等の取扱いについて
		広告掲載取扱要領
		講師料等についての規程
		理事会推薦理事の推薦基準について
		各種取り扱いについて
		功労者（退会者）への対応について
		ブロック支部担当理事の内規
	建築士事務所登録事務関係	
		登録等事務規程
		建築士事務所の登録等に関する取扱要領
		建築士事務所登録簿閲覧規則
	「神奈川県内の各市町村における木造住宅耐震化事業に係る補助基準一覧」	※旧委員会作成資料
コンペ情報		
建築CPD		
かながわ建築設計政経研究会会則		
寒川町木造住宅耐震相談に関する協定		
野中公認会計士事務所 委嘱契約		
会員ページ利用案内		※更新停止、不要となれば全削除
旧会員ページ	現講習会セミナー情報を含む	※更新停止、不要となれば全削除
一般の方へ		[TOPページ作成]
一般の方へのお知らせ	一般情報、神事協、行政・他団体	
建築士事務所って何？		
建築士事務所を探す		
	会員建築士事務所データベース	(データベース)
	建築物等調査・鑑定業務登録事務所	(名簿) (PDF)
	既存住宅状況調査技術者	(名簿)
	建築物等の定期調査業務	(名簿) (PDF)
	住宅防音事業	(名簿) (PDF)
	アスベストに関する調査	(名簿) (PDF)
	耐震診断・耐震改修業務	(名簿) (PDF)
建築設計トラブル相談		
住・緑・家		
マンション等の大規模修繕		マンション等の大規模修繕業務特別委員会
景観・まちづくり		
委員会・支部一覧		※サポセン内のページ

(ご意見等)

- ・パスワードの入力は、1回が良い。そのため、トップページで1回ログインする方法で出来ないか。
  - ・案2の方が良い。コンテンツの追加は難しいと思われるため。
- ・次回理事会の審議事項としますので、改めて内容のご確認を頂くと共にご意見等の提出をお願いした。

#### 4 各委員会報告等

##### ①委員会報告

- ・資料 4-1 等により各委員会から報告された。

総財務委員会：8/1 ・次年度予算の作成準備を依頼した。

業務支援委員会：開催なし ・10/18 神奈川県行政書士会との協定締結式を実施予定。

広報情報委員会：8/6

ブロック支部委員会：開催なし

法制委員会：開催なし

指導委員会：8/8 ・9/12 講習会実施。X のフォローを依頼。

青年部会運営委員会：7/19、8/16 ・10/4OCN を相模原で実施。テーマ「能登半島地震」

建築物耐震改修評価特別委員会・専門員会：開催なし

「住・緑・家」運営特別委員会：8/4 町内会説明。黒部副委員長を委員長代行としたことを報告。

マンション等の大規模修繕業務特別委員会：開催なし ・9/25 見学会実施。

景観・まちづくり特別委員会：7/22、8/19 ・景観整備機構担当として、相模原支部の福永様が出席された。

災害時対策特別委員会：開催なし

会報誌編集特別委員会：8/20

木造特別委員会：7/26 ・グリーゾーン関係：事例 23 件の検討を実施。9/2、10/30 講習会実施。

マロニエ BIM コンペかながわ 2024 実行委員会：7/16、7/25、7/26、8/5、8/7

- ・エントリー受付：9/6～10/5 後援依頼先に追加があればお知らせ頂くことを依頼。

来賓は、賀詞交歓会を基本とするが、案内が必要な方がいればお知らせ頂くこととした。

倫理委員会：開催なし

#### 5 日事連関係の報告

##### ①7/22 理事会の報告

- ・資料 5-1 により、平山会長から主な議題について、以下の通り報告。

<協議事項>

- (1) 常任理事会専決事項の承認の件
  - ①債券の購入の件
- (2) 副会長の順序の承認の件
- (3) 令和6・7年度委員会構成等の承認の件・
- (4) 名誉会長及び相談役の委嘱の承認の件
- (5) 令和6・7年度理事会より常任理事会に委任する事項の承認の件
- (6) 賛助会員の入会の承認の件
- (7) 年次功労者表彰の承認の件
- (8) 第142回建築士事務所協会全国会長会議の開催地等の承認の件

②CAD利用による設計製図の試行試験のための協力者の推薦依頼について  
(2名程度 8月末までに日事連へ回答予定)

- ・資料5-2により、磯部事務局長から以下の通り説明。

<協力の内容>

- ・試行試験用CADソフトウェア(Vectorworks2024)の習得
- ・試行試験に参加し、試行試験用CADソフトウェアによる一級建築士試験の設計製図の受験

<試行試験実施日時>

令和7年1月19日(日)10:00～18:30

<協力者の要件>

- ・一級建築士の資格取得を目指している又は近年取得された方
- ・CADについて知識を有している方(できればCADによる業務を通常行っている方)
- ・試行試験において知り得た情報を外部に漏らさないことを約束できる方
- ・試行試験で使用するパソコンを用意して、実施会場に持参できる方

<謝金>

30,000円(交通費込み)

- ・改めて理事へ案内を送付し、協力者の情報をお知らせ頂くこととした。

③建築士・建築士事務所登録数データ(令和6年4月1日時点)

- ・資料5-3により、磯部事務局長から以下の通り説明。

お目通しをお願いした。

## 6 その他

(1) 行事日程等

- ・資料6-1により、古谷理事から主な会議等の予定を確認するようお願いした。  
理事会：9/19(大和市にて14時～)、10/17(座談会13時-14時)、11/21、12/19  
2025/1/16、2025/2/20、2025/3/21

(2) その他

①理事会の開催運営についてのお願い

- ・資料 6-2 により、平山会長から以下の通り説明。

理事会の開催運営についてのお願い

平素より大変お世話になっております。

はじめに、理事会運営については、活発な議論が出来、本会事業運営が図られていることに感謝申し上げます。

さて、当会としてもデジタル化や省資源化の取組を進めるにあたり、まずは当会の執行機関である理事会をモデルとし、運営の見直しをしていくことと致しました。

つきましては、初期段階として、以下の取組を実施致しますので、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

- 1 原則デジタル化、省資源化を目指し、理事会資料の印刷配布は行いません。
- 2 理事会資料については、**ONE DRIVE** の共有フォルダよりダウンロードをお願い致します。URL は、メールでご案内致します。
- 3 理事会への資料提出は、開催の一週間前までとし、期限を厳守して下さい。  
ただし、審議事項については、その限りでない。

- ・9月から開始することとした。

また、以下を追記及び修正することとした。

2に「添付ファイルでPDFを送付致します。」を追記。

3 開催の一週間前までを 3日前までに修正

②甘利顧問へ要望しました内容についての対応報告

- ・資料 6-3 により、平山会長から以下の通り甘利顧問より報告があったことを説明。

令和6年7月18日

顧問 甘利 明

説明：秘書 大野

令和6年5月20日に貴会より要望頂きました内容についての対応報告

**【新耐震グレーゾーン木造住宅の耐震化】**

新耐震基準の木造住宅であっても、平成12年以前のものには、地震時に倒壊するなどの被害が生じたものがあり、その安全性確保は非常に重要です。地方公共団体における取組が促進されるよう、働きかけて参ります。

- ・各都府県へも要望をして欲しい。前例（実績）を作った方が良い。
- また、ガイドライン等の作成も必要と考える。

**【設備設計一級建築士制度の廃止】**

平成19年の建築士法改正で関係団体が納得して今の制度に落ち着いたと認識しています。要望の実態は、国土交通省にも認識させますが、日事連（一般社団法人日本建築士事務所協会連合会）や関係団体と連携・相談して頂きたいと思えます。

- ・新しい制度であるとの認識のため、民意の総意でないと難しい。
- ・関係団体等と横との繋がりをしっかりして提案した方が良い。

**【建築士事務所法（業法）の制定】**

事務所協会のかねてからの想いについては、理解しております。なかなか難しい案件ですが、平成26年の議員立法による建築士法改正も建築設計3会の共同提案で実現しました。こちらは、日事連（一般社団法人日本建築士事務所協会連合会）や関係団体と連携・相談して頂きたいと思えます。

- ・必要性のアピール。関係団体の理解も必要。全国組織からの提案が必要。
- ・人手不足、担い手不足解消のために進めるべきものは進める覚悟でいます。

③災害時住宅相談体制整備委員会についての報告

- ・資料6-4により、酒井専務から以下の通り説明。

8月7日に会議開催。相談体制のイメージ、令和6年度整備計画、役割分担について検討を実施した。

④神奈川県建築会議について

- ・古谷総財務委員長より以下の通り報告。  
現在、3会の連携、企画、防災をテーマに検討している。

○定款第47条により出席した会長及び監事は、議事録に記名押印しなければならない。

会 長	平山 正義	印
監 事	平野 武洋	印
監 事	山本 敏夫	印
監 事	椋 茂廣	印